



医療法人グループにおける
介護保険施設の経営
～経営人材の育成を主眼に～

病院-介護施設の“グループ経営”ソリューション

病院の制度をそのまま介護保険施設に適応するケースが散見されますが、介護施設および介護職員の特殊性にあった経営管理が求められます。私たちは医療法人のグループ経営をチェーンストア(chain store)理論の再定義と応用により、戦略立案から個別施設における黒字化施策の立案、人事・労務管理体制の構築、経営人材育成まで統合的に支援することができます。

1. **ミッションマネジメント**
≫グループの経営理念、ビジョンを明確にする。
2. **病院-介護グループ経営戦略**
≫グループ内の経営資源を有効活用(事業ポートフォリオの定義)しながら、バリューチェーンの最適化を実現する。
3. **病院-介護グループ経営管理体制**
≫グループを統括管理する事務部門を本部機能(グループ戦略策定、業績管理、人事)として確立する。意思決定の権限委譲とを整合させ、病院と介護保険施設間で責任と権限の範囲を明確にさせる。
≫管理機能の「集中と分散」の考え方を明確にし(本部集中管理か、分散管理かなど)、グループ管理のシナジー効果を追求する。
4. **個別施設単位での事業計画と収支改善施策**
≫個別の介護保険施設における事業計画を策定。必要に応じて中期経営計画としてまとめる。その中で、収支改善に寄与する施策の立案と実行を支援する。
5. **介護保険施設の人事・労務管理**
≫病院-介護施設をうまく連結する人事制度を確立。同時にキャリアパスの明確化、グループ経営を推進する経営人材の育成を行う。介護保険施設の人事・労務管理は“介護人材マネジメント”フレームモデルにより推進する。

株式会社 日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門
マネジャー 綾 高德
E-mail: rcdweb@ml.jri.co.jp

本資料の著作権は株式会社日本総合研究所に帰属します。